

令和元年10月18日（金）  
宮城労働局職業安定部職業安定課  
職業安定課長 帛岩 俊 明  
職業安定課長補佐 大谷 剛  
電話 022（299）8061

報道関係者各位

## ー ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組について ー

### 【概要】

- 平成30年度の実績及び目標達成状況をお知らせいたします。
- 令和元年度の目標値を設定しました。

厚生労働省では、全国のハローワークの機能強化を図るため、従来の目標管理・業務改善を拡充し、マッチング機能に関する業務の総合評価を行い、サービスの質の向上を図るとともに、就職支援の強化に取り組んでまいりました。

宮城労働局管内のハローワークにおける、平成30年度の総合評価結果は以下のとおりとなりました。

なお、重点的に取り組んだ事項、指標ごとの実績及び目標達成状況については、「就職支援業務報告」（別添P1～P16参照）のとおりです。

また、令和元年度の目標値につきましては、「令和元年度 ハローワークのマッチング機能に関する業務の安定所別目標値」（別添P17参照）のとおりです。

今年度におきましても、継続的な業務改善に取り組み、求人者・求職者サービスの向上に努めてまいります。

### ◎各ハローワークのマッチング総合評価結果

グループ <sup>(注)</sup>	ハローワーク名	総合評価
1	ハローワーク 仙台	標準的な成果
5	ハローワーク 石巻	標準的な成果
6	ハローワーク 塩釜	標準的な成果
8	ハローワーク 古川	標準的な成果
7	ハローワーク 大河原	良好な成果
9	ハローワーク 築館	良好な成果
10	ハローワーク 迫	良好な成果
	ハローワーク 気仙沼	標準的な成果

(注) グループについては、労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークを厚生労働省において11グループに分類している。

# ハローワーク仙台 就職支援業務報告（平成30年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

#### ① 各指標に対する取組

当所では、就職件数及び充足件数の向上のために、的確なマッチングによる職業紹介が重要と考え、求職者のニーズに応じた職業紹介を積極的に取り組みました。また、職業相談窓口の積極的な利用を勧奨するため、当所の就職支援サービスについてホームページやリーフレットの施設外配架等による周知と担当者制による求人情報の提供に取り組み、年間の提供件数は9,321件、来所相談者数は延べ1,459人、紹介件数は895件となっています。

人材不足分野事業所に係る支援としては、「人材総合支援コーナー」において支援対象業種を拡充して、人材の確保支援に努めました。特に、人材不足分野に係る職業及び職場理解の促進を図ることを目的に、応募前に直接求人事業所担当者等と面談が出来る場として「しごとミニ相談会」を精力的に開催しました。開催回数は165回を数え、参加者数は延べ375人となっており、参加求職者及び事業所担当者から好評を得ております。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、職員の資質向上に向けて、各部門責任者による日常的な個別助言・指導に努めると共に、職業相談技法の向上及び労働基準法や職業紹介関係業務関連知識の習得等に係る研修を計画的に実施しています。特に、労働基準法に係る研修については、労働基準監督官を講師とし専門的な知識の習得に努めています。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

高年齢者の利用が増加しているため、高年齢層に特化したマッチングサービスの充実を図ることとし、「高年齢者の応募を歓迎する求人」を集約し、効果的・効率的な情報提供によるマッチングの強化に取り組みました。

### （3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

ハローワーク利用者の満足度を高めるためには、相談内容の充実による的確なマッチングによる就職支援と求人者への人材確保支援サービスが増々重要となってきたため、職員一人ひとりの相談技法等の更なる向上を目指し、研修内容の充実を図ると共に、部門責任者等による日常的な助言・指導を強化して取り組みます。

### （4）その他業務運営についての分析等

令和2年1月にハローワークシステムが刷新されることから、新システムの機能等を活用した求人者及び求職者サービスの更なる充実、強化に取り組めます。また、刷新後も常に効果検証を行い、より良いサービスの提供に向けて改善を重ねてまいります。

## 2 総合評価 (※)

### 標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受 給者早期再 就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対 する紹介 率	求職者に 対する紹 介率	①生活保 護受給者 等の就職 件数	②障害者 の就職件 数	③学卒J Sの支援 による正 社員就職 件数	④公的職 業訓練修 了3ヶ月 の就職件 数	⑤マザー ズHWで の重点支 援対象者 の就職件 数	⑥正社員 求人数	⑦正社員 就職件数	⑧介護・ 看護・保 育分野の 就職件数	⑨建設分 野の就職 件数
実績	14,052	17,232	6,231	78.3%	93.1%	19.1%	19.4%	860	974	3,090	908	92.2%	71,905	6,763	1,891	560
目標	15,334	18,299	6,284	90.0%	90.0%	20.7%	19.9%	1,165	864	2,651	752	92.1%	74,241	7,432	1,951	591
目標達成率	91%	94%	99%			92%	97%	74%	113%	117%	121%	100%	97%	91%	97%	95%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク石巻 就職支援業務報告（平成30年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、管内雇用情勢の好調が続く中、いわゆる人手不足分野といわれる「建設」「医療・福祉」「保育」「警備」に加え地域の基幹産業である「水産加工」などの人材の確保が厳しい状況にあるため、求人者への人材確保支援サービスの向上、求職者に対する職域拡大などの条件緩和提案、ハローワーク利用者の拡大、地元自治体との連携による雇用対策の強化などを重点的に取り組みました。

求人者への人材確保支援サービスの向上については、求人事業所の魅力の発信の場としての職場見学会を提案・開催し、直接求人・求職者からの声が聞こえるとして好評を得ました。30年度は39事業所で職場見学会を実施し、158人の参加が得られました。また、求人・紹介部門の全職員・相談員が企画・運営に携わることにより、教育訓練の場としての役割も担いました。

求職者に対する条件緩和提案として、人手不足分野職種への希望や資格情報の把握に努め、仕事・職業への興味・関心を広げる場として、上記の職場見学会に加え、合同企業説明会への参加勧奨をしました。30年度の合同企業説明会は、5回開催し、63社、207人の参加が得られました。また、ハローワーク利用者の拡大のために、石巻市との連携のもと市内6総合支所において出張相談会を定期開催し、延べ18回の開催で27件の相談がありました。また、所作成の求人情報誌の配架先を開拓・拡充し、より多くの住民がハローワークの情報を目にする機会を増やしました。

管内の2市1町と連携し、誘致企業などの合同企業説明会・職場見学会の開催、出張相談会の実施、雇用管理改善の企業セミナーの開催など、日常的に連携を深め雇用対策に取り組みました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

早期再就職のための取組として、これまでは雇用保険説明会時に行う初回講習会の中で、ハローワークサービスメニューに加え早期再就職に係る案内を行ってきましたが、10月から新たに早期再就職を目的としたセミナーを月2回開催することとし、早期再就職のメリット、求人票を見るポイントなどをより幅広く説明することとしています。

「魅力ある職場づくり」のための企業支援セミナーを年1回から2回に拡充し、6月と2月に宮城県東部振興事務所と共催で実施しました。2月には「働き方改革関連法」をテーマとし参加企業から好評を得ました。

11月の介護就職ディでは、福祉の仕事面談会の他に、東松島市と共催で「介護就職ウィーク医療・介護の仕事見学会」として、東松島市内所在の医療・福祉施設8事業所の見学会を実施しました。直接求人・求職者からの声が聞こえるとして好評を得ました。

9月から石巻市と連携し開催した出張相談会は、地元新聞、市の広報誌への掲載に加え、市の職員と協力して、復興公営住宅へのチラシ配布などの周知をしたことにより、ハローワークの利用拡大につながりました。職場見学会の取組強化のため、7月から窓口での周知を強化す

るとともに、管内報道機関2社及び労働局ホームページ、管内自治体広報誌を有効活用し、各種イベントの周知広報を強化しました。

### (3) 今後のサービス・業務改善の取組について

30年度取り組んだ地方自治体との連携事業、職場の魅力発信や職業理解の向上のための職場見学会、早期の再就職を実現するための所独自セミナーについては、求職者からも求人者からも好評を得ているため、引き続き実施します。

60歳以上の求職者の割合が増加していることから、事業所の意向も踏まえつつ、60歳以上歓迎職場見学会等を提案していきます。

石巻市との連携事業である出張相談会は30年度の結果を踏まえつつ、開催場所や開催回数について検討し引き続き実施するものとします。

ハローワークシステム刷新時期を見据えながら、求職者向け説明会、求人者説明会等を準備しつつ、求職者の確保、新規求人の確保に取り組んでいくこととします。

### (4) その他業務運営についての分析等

管内は求人倍率が高く、少子高齢化の進展と相まって、人材確保が地域の重要課題となっており、求人者には、魅力ある職場作りに向けた機運醸成を、求職者には地元企業を知ってもらう機会の提供など、地元就職・職場定着を意識した取組みをして参

## 2 総合評価 (※)

### 標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける重点支援対 象者の就職率	正社員求人 数	正社員就職 件数	介護・看護・ 保育分野の 就職件数
実績	3,912	3,659	981	86.2%	96.3%	24.2%	25.1%	100	92.6%	11,338	2,079	489
目標	4,184	3,934	980	90.0%	90.0%	24.3%	25.7%	80	92.1%	14,131	2,144	498
目標達成率	93%	93%	100%			99%	97%	125%	100%	80%	96%	98%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク塩釜 就職支援業務報告（平成30年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、介護・看護・保育分野における就職件数を重点目標の一つとして取り組みました。当該分野の求人・求職のマッチングのため、求人事業所への人材確保支援サービスとして、求職者情報の提供、画像情報による事業所のPR、求人条件見直し提案等を行い、求職者への就職支援サービスとして、希望に応じたより詳細な求人情報の提供や職業相談内容の充実を図りました。

また、福祉・建設・警備・運輸などの人材不足分野の職種を中心に、企業の人事担当者が直接求職者に仕事の内容や求人条件、会社の特徴などをPRできる場として、職種セミナーを10回開催し、152名が参加しました。また、関係機関（自治体・各就労支援機関等）と連携した合同企業面談会を4回開催し、210名の参加があり、求人と求職者のマッチング機会の拡大を図りました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

昨年同様に、ハローワークの業務を知ってもらうため、ハローワークの支援メニュー案内用リーフレットやイベントカレンダーを作成し、窓口において周知広報を強化するとともに、求人票の閲覧をする求人情報端末機へのイベント情報の掲載を行いました。

また、待合コーナーのモニターを活用したハローワークの支援メニューの案内画像を放映するなど周知・PRを行いました。

### （3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

平成30年度は介護・看護・保育分野の就職件数を重点目標の一つに掲げ、介護就職ディに合わせた自治体や関係機関との連携による面接会、人材不足分野を対象とした職種セミナー及び合同企業面談会等を積極的に開催しましたが、目標である就職数を上回るまでに至りませんでした。

令和元年度についても、引き続き人材不足分野の充足支援について、より効果的なセミナーや面接会の運営に努めます。

また、令和元年度の新たな目標として、職業訓練施設と連携し、訓練修了者の早期の再就職実現のための就職支援に取り組みます。

### （4）その他の業務運営についての分析等

引き続き、正社員就職の促進を図るため、正社員求人の確保及びマッチングに取り組めます。また、当所管内求職者のうちシェアの高いパートや高齢者についても同様に就職促進に取り組めます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	正社員求人 数	正社員就職 件数	介護・看護・ 保育分野の 就職件数
実績	2,464	1,719	899	86.16%	96.7%	19.5%	20.3%	132	5,791	1,218	274
目標	2,619	1,823	892	90.0%	90.0%	21.5%	21.9%	80	5,661	1,197	298
目標達成率	94%	94%	100%			90%	92%	165%	102%	101%	91%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク古川 就職支援業務報告（平成30年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、「就職件数」、「充足数」の目標達成を最重要と考え、そのための紹介件数や相談件数を増やすための取組として、職業相談窓口利用のメリットを求職者に確実に伝えることにより、職業相談窓口の利用を促進し、職業紹介につながる効果的な職業相談の実施、適格求人の提案、雇用保険受給者に対する各認定日ごとの職業相談の実施等を積極的に展開してきました。加えて、就職率・充足率を向上させるため、担当制による職業相談の実施、求人充足に向けての所内検討会議の実施、求人（求職）双方の条件緩和の提案の取組みについても積極的に実施してきました。

また、福祉・建設・警備・運輸分野などの人手不足分野における人材確保対策の一環として、当該分野の職場見学会（介護関係1回）、事業所説明会・ミニ面接会（介護関係11回、警備関係10回、建設関係1回、運輸関係3回）を実施し、さらに宮城県福祉人材センターと連携し「福祉のお仕事出張相談会」（月1回相談、ミニ面接会年6回開催（介護関係））、「介護就職ディ面談会」（介護関係12社）の開催にあたって、積極的に参加を呼びかけました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人の早期充足を図るため、職員による事業所訪問を積極的に展開し、求人票以上の詳しい企業情報の収集や、求人票の「仕事の内容欄」の記載充実のための働きかけに取り組みました。また、求職者に対し、収集した事業所画像情報を求人情報提供端末で提供するとともに、1階エントランス（庁舎入り口）の求人リフレッシュコーナーに印刷して求人票と併せて掲示することで積極的な応募勧奨を図りました。

また、雇用保険受給者の早期再就職を図るため、積極的に職業相談を実施したほか、失業認定時間を分散化し職業相談時間を確保し積極的に職業紹介を行いました。

### （3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

人手不足分野における人材確保対策として、職場見学会、求人事業所説明会、ミニ面接会を引き続き実施するとともに、当該分野への再就職の意欲がある求職者及び当該分野における各種資格を有している求職者に対しては、求職者担当制による就職支援、積極的な求人情報の提供や、職業訓練の的確な案内を積極的に展開してきたところです。

また、スタッフの資質向上に向けて、キャリアコンサルティングの研修を実施しスキルアップを図り、より一層サービス向上に努めます。

(4) その他業務運営についての分析等

全体の求職者が減少している中で、割合が増加している高齢者、女性の活躍を推進するために、さらなる就職促進を図っていきます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける支援対象者 の就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	3,212	2,752	875	88.5%	92.4%	22.3%	24.3%	88	93.3%	7,386	1,670
目標	3,411	2,814	1,017	90.0%	90.0%	21.7%	24.1%	80	92.1%	8,298	1,724
目標達成率	94%	98%	86%			102%	100%	110%	101%	89%	96%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク大河原 就職支援業務報告（平成 30 年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

30 年度においては、雇用保険受給者に対する求人情報一覧表の交付及び求人検索機利用者に対する働きかけ等による相談窓口への誘導を行い、積極的な職業紹介に取り組みました。

また、ミニ面接会は 16 回開催し、93 人の参加者のうち 12 人が就職しました。

さらに、30 年 11 月にハローワーク福島と連携した合同会社説明会を白石市において開催しました。

特に、31 年 1 月から職場見学とミニ面接会を同時に行うツアー型面接会の取り組みを開始し、利用者から「求人票だけでは分からない会社の実態がよく分かった」などの評価をいただいています。

### （2）中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る目的から、労働基準法、労働者派遣法等の研修を実施し、能力向上に取り組みました。

また、職業相談技法向上のため、「窓口における職業技法」に関する研修も行いました。

### （3）サービス改善・業務改善を図った事項

「応募可能な求人を探しやすくしてほしい」という高齢求職者の声に応え、求人票に「60 歳以上の方の応募を歓迎」と表記することにしました。

また、障害者の就職促進を図るため、単独で「障害者合同就職面接会」を開催し、42 名の参加中、13 名が就職しました。

白石出張所においては、応募者がしやすい求人の特徴をまとめたリーフレットを作成し、求人条件の見直しの提案を行うサービスに取り組みました。

### （4）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

高齢求職者に対するサービス向上のため、高年齢者対象求人の増加を目指します。また、事業所に対する人材確保を支援するとともに、求職者に対して求人票では得られない事業所の情報を提供し、応募のきっかけ作りとする「ミニ面接会」及び「ツアー型面接会」の開催回数を増やす等して、マッチングの促進を図ります。

白石出張所においては、高年齢者を積極的に雇用する意思のある求人を確保し、高年齢者の方に対する就職支援を強化します。

### （5）その他業務運営についての分析等

就職者の4割以上が管外事業所へ就職していることから、求人の開拓や求人条件の見直し提案を積極的に行い、応募者にとって魅力ある求人の確保に取り組みます。

## 2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	障害者の就 職件数	正社員求人 数	正社員就職 件数
実績	3,009	1,873	842	71.4%	93.8%	20.9%	24.8%	188	146	5,525	1,594
目標	2,995	1,748	844	90.0%	90.0%	23.1%	24.2%	86	125	5,409	1,566
目標達成率	100%	107%	99%			90%	102%	218%	116%	102%	101%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク築館 就職支援業務報告（平成30年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

① 当所では、求人への充足数の目標達成を最重要と考え、福祉・建設・警備・運輸分野などの人手不足職種に対する求人への人材確保支援の取組や高齢者の採用を促進する取組を重点的に行いました。また、求人事業所への訪問による働き方改革に関する周知を積極的に実施するとともに、求人票の項目以外の魅力を発掘し、求職者に提供することで、応募者が増加し採用に結び付く可能性を高める取組を行いました。

さらに、30年度から新たに人手不足職種に関する求職者へのアンケートの取組を開始し、介護関係や製造関係の再就職セミナー（ミニ面接会）を実施する際の案内等に活用しました。

### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の資質向上を図る観点から、職業紹介業務に関する基礎的な職員研修を11回開催しました。特に働き方改革に関する労働基準法の研修は、労働基準監督署の職員を講師に栗原市と共同開催し、市の職員も共に受講することで情報の共有を図ることが出来ました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

① 雇用保険受給者の早期再就職に対する取組として、早期再就職した場合と支給終了まで受給した場合の総収入を比較したリーフレットを作成し、説明を行なうことにしました。初回認定の職業相談時には、求人公開端末の操作方法が不明な方に対し説明することとしました。就職支援セミナーについては、新規求職申込み時から受講勧奨することとしました。

② 就職促進に関する取組として、2月から職業相談窓口利用の誘導強化を目的に相談支援メニュー表を新たに作成し、新規求職受理時に配付することとしました。

③ シニア向け求人等の確保による人手不足の解消と応募意欲の喚起について、「60歳以上応募歓迎」又は「応募前職場見学可能求人」の求人票への記載を、新たに作成したリーフレットを活用し求人事業所に勧奨しました。

④ 子育て中の求職者の就職促進の取組みとして、子育てに理解のある事業所との面接会（「子育て支援セミナー」）を栗原市の保育所申込み時期（11月）に合わせて開催しました。

### （3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

① 人手不足解消の方策として求職者を対象とした事業所見学会を開催し、仕事内容に対する理解を深めてもらえる取組を実施します。

- ② 働き方改革についての求人票への記載を求人事業所に勧奨し、事業所の魅力のPRを促進します。
- ③ 雇用保険受給者の早期再就職を促進するため、失業の認定日における職業相談について、充実を図ります。
- ④ 来所者への窓口誘導の強化を図るために2月に作成した相談窓口利用促進のためのリーフレットを活用し相談件数の向上を図ります。
- ⑤ 就職支援セミナーの受講者に対し、当日セミナー終了後に最新の求人情報紙を提供し応募意欲の喚起を図ります。

#### (4) その他業務運営についての分析等

当所管内は少子高齢化による過疎地域（県内の圏域で高齢化率1位）であるため、今後も人手不足が恒常的な課題となるため、働き方改革による生産性向上と職場の魅力づくりを事業所に働きかけることにより人材確保につなげる取組をすすめることとします。また、女性及び高齢者が活躍できる労働市場の構築に向けた取組が重要となることから、これまでの取組も含めて業務の推進を図ります。

## 2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護 受給者等 の就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	1,214	1,346	339	68.2%	96.8%	16.8%	21.8%	73	3,885	658
目標	1,210	1,273	358	90.0%	90.0%	17.2%	21.3%	43	3,397	616
目標達成率	100%	105%	94%	76%	108%	97%	102%	169%	114%	106%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク 就職支援業務報告（平成30年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

#### ① 各指標に対する取組

当所では、就職件数の目標達成を最重要と考え、ハローワーク利用者の窓口誘導の取組及び窓口を利用した求職者に対してハローワーク側から働きかける能動的マッチング、特に求職者の方の希望条件や職務経験等に対して、適職と思われる求人を提案する取組（以下「提案型マッチング」という。）を重点的に実施しました。

「提案型マッチング」の取組においては、求職者自らが選んだ求人に紹介した件数のうち、就職に結びついた方の件数割合（以下「紹介成功率」という。）が33.8%だったのに対し、「職員提案」や「求人票の事前提供」等、ハローワーク側から働きかけた求人に紹介したケースにおいては紹介者1,314人のうち468人の方が就職に結びつき、紹介成功率が35.6%と自ら選んだ場合の実績を上回っております。

また、「提案型マッチング」のほか、求職者の方を専属的に担当する「求職者担当者制」等、ハローワーク側から能動的に働きかける各種取組を積極的に行った結果、年度の常用就職件数目標1,911件を上回る、1,919件の就職件数を達成することができました。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、厚生労働本省や宮城労働局で実施している「キャリアコンサルティング研修」等、各種研修への受講生送りだしのほか、以下のような各種所内研修・共同研修に取り組みました。

取組んだ主な研修は、相談技能や来所者サービスの向上に向けた「接遇（傾聴）研修」、雇用保険担当が職業紹介業務を理解するための「業間研修」、職業適性検査に活用する「OHBYカード活用研修」及び「労働基準法研修」などです。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

当所では、平成29年度の利用者アンケートにおいて、「初めて来た場合の利用の仕方がわかりづらい」「所内に配置・掲示されている資料やパンフレット、ポスター等に統一性がない」等の意見があったことから、4名の所内委員による「ハローワーク 環境改善委員会」を立ち上げ、委員以外の職員等の意見も参考にしながら環境改善に取り組みました。

それにより、平成30年度の利用者アンケートにおける「案内表示」「見やすい展示」「分かりやすい陳列」等の該当項目では、いずれの項目の「できている」という回答の割合が全国及び宮城平均を上回っており、一定の改善を図ることができました。

また、同じく平成29年度の利用者アンケートにおいて指摘を受けた「雇用保険部門における手続き時の待ち時間の軽減」については、受付方法の見直しや受付後の業務の流れを改善し、若干ではありますが待ち時間の軽減が図られており、30年度の利用者アンケートにおいて、同様の指摘はありませんでした。

### (3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

「提案型マッチング」について、全体的には一定の紹介成功率となっておりますが、その中で「職員提案」における成功率が低い状況のため、求職者の方の希望条件や職務経験等に即したより就職に結びつくと思われる求人を提案・紹介できるよう、成功事例の共有化や求人票の見立研修等を行いマッチング精度の向上に努めます。

また、求人への応募を判断する一つとして、事業所の情報収集が重要であると思われることから、事業所の画像情報や事業所説明会等、求人票以上の情報を積極的に発信していきます。

### (4) その他業務運営についての分析等

当所におきましては、働きやすい魅力ある職場づくりのため、「働き方改革」に積極的に取り組んでいる事業所の情報を幅広く収集し、所内外に発信していきます。

また、平成30年度は、市の誘致企業2社の進出があり、当所会議室を会場とした「事業所説明会」を複数回開催するなど、求人充足に取り組みました。結果として、事業所が当初予定していた採用人数について、ほぼ充足することができました。

今年度も、新たに市の誘致企業2社の進出が予定されていることから、平成30年度同様、幅広い情報提供や事業所説明会等を積極的に開催し、人材確保支援に努めます。

## 2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者の就職 件数	正社員 求人件数	正社員 就職件数
実績	1,919	1,484	402	96.8%	94.0%	23.8%	24.5%	58	3,068	1,008
目標	1,911	1,430	443	90.0%	90.0%	24.0%	24.5%	43	3,153	955
目標達成率	100%	103%	90%			99%	100%	134%	97%	105%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク気仙沼 就職支援業務報告（平成30年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

#### ①各指標に対する取組

当所では、地域の基幹産業である水産加工をはじめ、建設、医療、介護等の人手不足分野の人材確保支援が重要と考え、当該業種を中心としたミニ企業説明会を23回（参加企業数45社、参加者数195人）、事業所見学会を5回（見学事業所数5社、参加者数56人）開催し求人者と求職者のマッチングの促進を図りました。また、雇用保険受給者の就職促進についても重要と考え、失業認定日には受給者全員の職業相談や希望条件に見合う求人情報の提供を行うとともに、受給者の就労意欲の適正な把握に努め早期再就職の支援に取り組みました。

#### ②中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、職業相談や求人受理の際に必要な知識の習得を図るため、労働基準監督官による各種労働法の研修会を実施しました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

当所では、管内の高齢化率が高いことに加えて少子化による人口減少が進んでいる状況にあり、高齢者や子育て女性の活躍が期待されていることから、新たに高齢者対応求人用のコード番号を設定し求人情報の検索や職業相談の簡便化を図りました。また、所内に「女性のしごと相談窓口」を開設し、子育て女性の生活支援や就労支援の向上も図りました。

働き方改革については、管内企業に制度内容の理解を深めていただくために地元新聞紙面を活用して制度のポイントを12回シリーズで掲載し周知・PRを行いました。

### （3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

人手不足分野における取り組みが増々重要となっていることから、人材不足分野に対する興味アンケートや業務・業界内容を理解していただくための企業説明会及び事業所見学会の開催を更に推進し人手不足分野の充足促進を図ります。

### （4）その他業務運営についての分析等

当所管内は、少子高齢化及び人口減少により求職者が減少傾向にあり人材確保が重要課題となっていることから、求人者には働き方改革な

どの魅力ある職場づくりの支援を、求職者には地元基幹産業である水産加工業等の職場環境など現状の理解向上を、そして、若年者には地元定着に向けて積極的に取り組みます。

## 2 総合評価 (※)

### 標準的な結果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者の就職 件数	正社員 求人数	正社員 職数数		
実績	1,912	1,816	462	74.0%	95.1%	20.6%	25.4%	73	3,915	802		
目標	1,905	1,886	450	90.0%	90.0%	20.9%	25.5%	43	4,728	710		
目標達成率	100.4%	96.3%	102.7%			98.6%	99.6%	169.8%	82.8%	113.0%		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

令和元年度 ハローワークのマッチング機能に関する業務の安定所別目標値等

1 主要指標 [毎月公表項目]

	宮城	仙台	石巻	塩釜	古川	大河原	築館	迫	気仙沼
就職件数(常用) ※1	30,697	13,595	3,754	2,402	3,144	2,953	1,185	1,858	1,806
充足件数 (常用、受理地ベース) ※2	30,742	16,577	3,488	1,640	2,697	1,846	1,337	1,443	1,714
雇用保険受給者の早期 再就職件数 ※3	10,018	5,694	885	796	775	768	310	369	421

2 補助指標(平成30年度実績以上を目標としています)

	宮城	仙台	石巻	塩釜	古川	大河原	築館	迫	気仙沼
求人に対する紹介率 ※4	41.7%	40.0%	49.2%	41.8%	46.0%	43.5%	37.3%	48.9%	44.6%
求職者に対する紹介率 ※5	53.4%	49.1%	62.2%	53.0%	57.9%	58.9%	58.3%	61.3%	61.7%

3 重点指標(年度ごとに各安定所が重点的に推進する業務を目標としています)

	仙台	石巻	塩釜	古川	大河原	築館	迫	気仙沼
生活保護受給者等の就職件数 ※6	1,124	89	88		89	44		46
障害者の就職件数 ※7	974	185		200			81	
学卒ジョブサポーター支援による 正社員就職件数 ※8	3,296							
公的職業訓練の修了3カ月後の 就職件数 ※9	625		119					
マザーズハローワーク事業における重点 支援対象者の就職率 ※10	92.7% 以上	92.7% 以上		92.7% 以上				
正社員求人数 ※11	74,422	13,142	5,783	8,127	5,563	3,780	3,163	4,384
正社員就職件数 ※12	6,597	1,975	1,152	1,575	1,491	571	907	691
人材不足分野の就職件数 ※13	3,086							
生涯現役窓口での65歳以上の 就職件数	282				39			

※1 ハローワークの職業紹介により常用就職した件数(常用とは、雇用期間の定めのない、または4か月以上の雇用期間が定められている仕事をいいます)

※2 宮城県内のハローワークで受理した常用求人に対して、全国のハローワークの職業紹介により就職した件数

※3 雇用保険受給者が、失業給付の基本手当の所定支給日数の3分の2以上を残して早期に再就職した件数

※4 新規求人件数全体に占める紹介歴のある求人件数の割合

※5 新規求職者数全体に占める紹介歴のある求職者数の割合

※6 ハローワークが自治体と協働して生活保護受給者等の方を就労支援し就職した件数

※7 ハローワークの職業紹介により障害のある方が就職した件数

※8 ハローワークに配置されている学卒ジョブサポーターの支援した方のうち正社員就職した件数

※9 公的職業訓練の終了後3カ月後における雇用保険の適用となった就職件数

※10 マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率

※11 ハローワークで受理した正社員求人数

※12 ハローワークの職業紹介により正社員に就職した件数

※13 ハローワークの職業紹介により福祉(介護・看護・保育)・建設・警備・運輸分野の職種に就職した件数

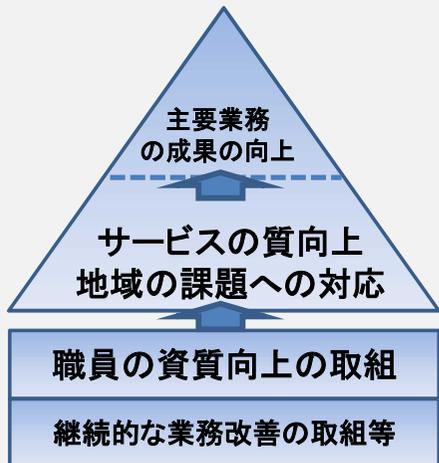
# ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組 (ハローワーク総合評価)の概要

ハローワークのマッチング機能の強化を図るため、従来の目標管理・業務改善の拡充、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づく全国的な業務改善(ハローワーク総合評価)の取組を、平成27年度から実施。

## PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

- 従来の取組(就職率等の**主要指標**に基づくPDCAサイクルによる目標管理)を拡充し、
  - ①業務の質に関する**補助指標**
  - ②ハローワークごとに、地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する**所重点指標**
  - ③ハローワークごとに、中長期的なマッチング機能強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進する評価項目である**所重点項目**を新たに設定し、目標管理を実施。

短期的な成果の向上だけでなく  
中長期的な業務の質向上・業務改善を図り  
マッチング機能を強化



## ハローワークのマッチング機能の 総合評価・利用者への公表

- 業務の成果について毎月公表  
→各労働局が所管ハローワークの主要指標の実績を毎月公表
- 年度終了後、業務の成果(主要指標・所重点指標)や質(補助指標)、職員の資質向上・業務改善の取組(所重点項目)の実施状況を踏まえ、ハローワークごとに総合評価を実施。  
→労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークを11のグループに分け、同一グループ内で相対評価
- ハローワークごとに総合評価結果及び業務改善の取組等をまとめ、各労働局が公表。  


重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表
- 総合評価結果を、労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

## 評価結果に基づく 全国的な業務改善

- ハローワークのマッチング機能の強化を図るため、評価結果をもとに、本省・労働局による個別のハローワークへの重点指導や好事例の全国展開を実施
  - ①評価結果に基づき、本省から、労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導
  - ②一定の基準に該当するハローワークは改善計画を作成、本省・労働局が重点指導
  - ③好事例は全国展開  
労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流会も開催

# ハローワーク総合評価の評価指標の構成

## 1 全ハローワーク共通の評価指標(主要指標・補助指標)

### (1)主要指標

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち、特に中核業務の成果を測定する評価指標

- 就職者数
- 求人充足数
- 雇用保険受給者の早期再就職件数

### (2)補助指標

ハローワークのマッチング機能に関する業務の質を測定する評価指標

- 求人・求職者に対する満足度
- 求人・求職者に対する紹介率

## 2 地域の雇用課題等に応じてハローワークごとに選択する評価指標(所重点指標・所重点項目)

### (1)所重点指標

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち、地域の雇用に関する課題等を踏まえ、ハローワークごとに重点として取り組む業務に関する評価指標

- 生活保護受給者等の就職件数
- 障害者の就職件数
- 学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数
- ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついたフリーター等の件数
- 公的職業訓練修了3ヶ月後の就職件数
- マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率
- 正社員求人数
- 正社員就職件数
- 介護・看護・保育分野の就職件数
- 建設分野の就職件数
- 生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数
- その他、安定所と労働局が調整し設定するマッチング業務指標

### (2)所重点項目

中長期的なマッチング機能向上のための、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組に関する評価指標

- 職員による事業所訪問の実施
- 職員による計画的なキャリアコンサルティング研修の受講
- 個別求職者担当制の実施
- 業務改善を図った取組の共有
- 他所と連携した広域労働移動の取組
- 地方公共団体との連携の推進
- 各種業務研修の実施

# ハローワーク総合評価の評価方法

ハローワーク総合評価は、年度単位で実施し、

- ①労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークを11グループに分け、
- ②年度終了後に、ハローワークごとに評価指標の実績を点数化し、同一のグループ内で相対評価を行う。

① 評価指標(主要指標・補助指標・所重点指標)ごとに、年度当初に定めた目標への達成状況を基に、点数を付与する。

A指標の目標達成率



A指標のポイント化係数



〇〇ハローワークの  
A指標のポイント

(例) A指標のポイント化係数が100点、目標達成率が105%とすると、 $100点 \times 105\% = 105点$ がA指標の点数となる。

② 評価指標(主要指標・補助指標・所重点指標)の目標達成率が100%以上の場合等に、点数を加点する。

(例) 上記①のA指標の目標達成率は105%なので、105点に加え、10点を加点。

③ 評価指標(所重点項目)の実施状況を基に、点数を付与する。

※中長期的な観点から必要となる職員の資質向上のための取組や継続的な業務改善の取組を実施した場合に、取組ごとに点数を付与。

④ ①～③の点数を合計し、ハローワークごとに、総点数を計算する。

- 11グループのうちの同一グループ内で、ハローワークごとに、総点数を比較の上、4段階（「非常に良好な成果」、「良好な成果」、「標準的な成果」、「成果向上のため計画的な取組が必要」）の相対評価を行う。

# 平成30年度のハローワーク総合評価結果概要

○ ハローワーク総合評価として、ハローワークごとに評価指標を点数化の上、点数化された総点数を基に、4類型（類型1：非常に良好な成果、類型2：良好な成果、類型3：標準的な成果、類型4：成果向上のため計画的な取組が必要）の相対評価を行ったところ、平成30年度の結果概要は、以下のとおり。

## ※4類型の設定方法

- ・ グループごとに総点数の平均値を基準とし、平均値以上を類型1・2、平均値未満を類型3・4に区分する。
- ・ 類型1・2のうち、全ての評価指標の目標達成率100%等を満点とみなし、満点以上を類型1、それ以外を類型2とする。
- ・ 類型3・4のうち、グループ平均値の80%未満（※）を類型4、それ以外を類型3とする。  
※規模が大きい1Gは平均値の90%未満、2~5Gは平均値の85%未満と、基準を高く設定。

	評 語	平成30年度 ハローワーク数	平成29年度 ハローワーク数
類型1	非常に良好な成果	12	10
類型2	良好な成果	212	197
類型3	標準的な成果	213	227
類型4	成果向上のため計画的な 取組が必要	0	3
		437	437

## 〔 参考 グループごとの満点及び平均値 〕

評価グループ	満点	平均値
1G	1214	1069
2G	1211	1051
3G		1069
4G	1199	1033
5G		1044
6G	1198	1045
7G		1061
8G		1054
9G	1199	1075
10G		1065
11G		1095